

第7次高松市行財政改革計画

～信頼と活力に満ちた市役所を目指して～

平成28～29年度実績報告書

平成30年8月

目 次

I 総 論

- 1 第7次高松市行財政改革計画の戦略的取組と推進体制
- 2 目標値と実績値
 - (1) 重点取組
 - (2) 財政指標
 - (3) 目標効果額と実績効果額
- 3 計画に変更のあった実施項目等
 - (1) 計画に追加した実施項目
 - (2) 中止とした実施項目

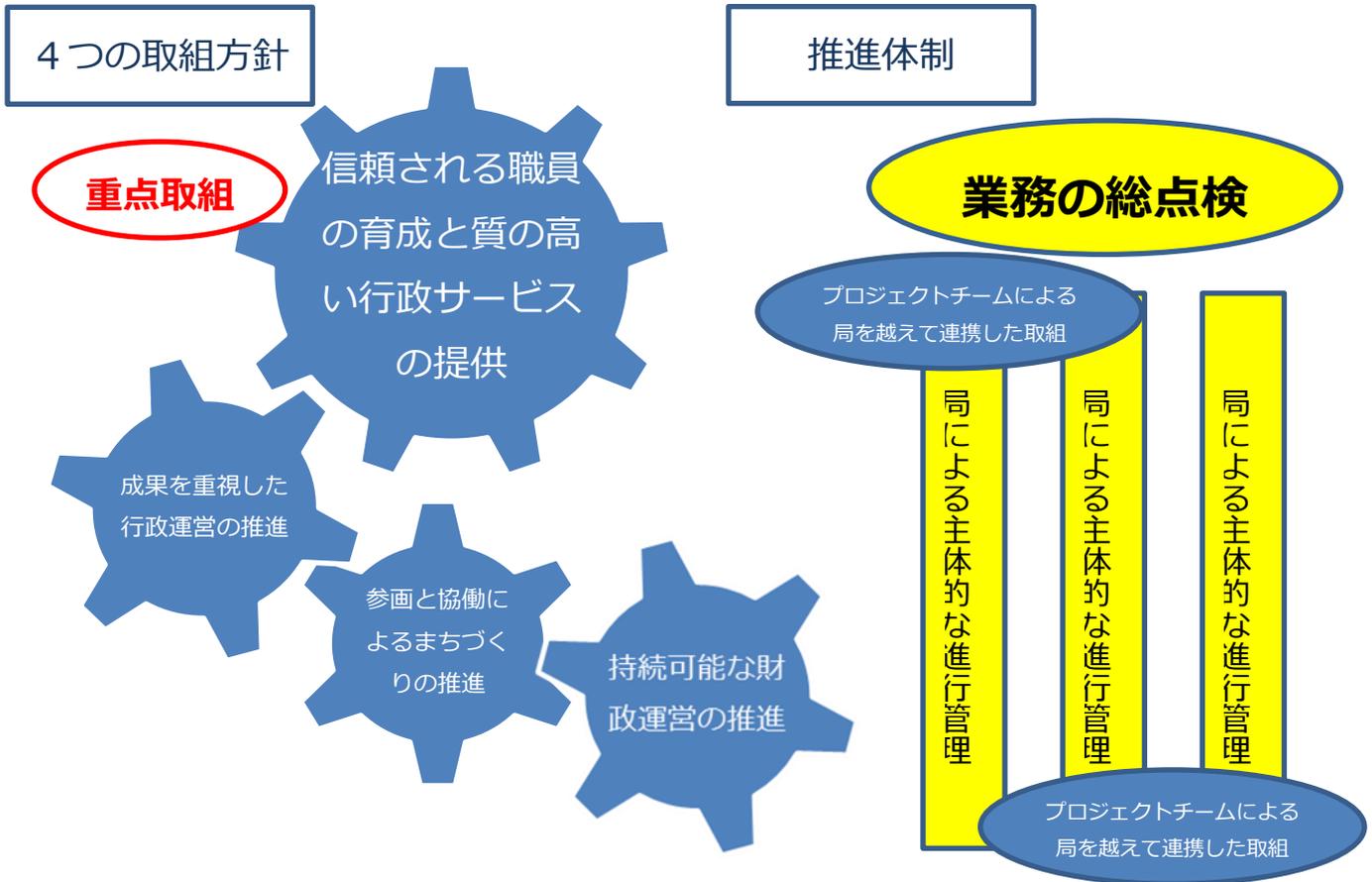
II 各 論

- 1 局進行管理
 - (1) 取組状況（局別）
 - (2) 目標達成度（局別）
 - (3) 効果額（局別）
- 2 局進行管理体制
- 3 プロジェクト進行管理体制
- 4 【参考】外部評価による事業の見直し状況

1 第7次高松市行財政改革計画の戦略的取組と推進体制

第7次高松市行財政改革計画（平成28年4月策定）

《計画期間》平成28～31年度（4年間）



2 目標値と実績値

(1) 重点取組

- 信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

指標	計画策定時点 (平成26年度)	平成28年度	平成29年度	目標値
市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合	85.1%	91.6%	90.2%	100%
市民サービスアンケート（集中実施）における満足度	92.9%	96.6%	98.0%	100%

「市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合」は、職員の意識改革に主眼を置いた各種の取組を進めたものの、平成28年度と比較し、1.4ポイント減少した。

「市民サービスアンケート（集中実施）における満足度」は、平成28年度と比較し、1.4ポイント増加した。

継続して積極的に担当所属において取り組むとともに、全庁を挙げて目標達成に向けて取り組みを進める。

(2) 財政指標

ア 経常収支比率（低い方が望ましい指標）

財政指標 (目標値)	計画策定時点（平成26年度）決算値		実績値
	高松市	中核市平均	
90.0%	87.3% (28年度:91.8%)	90.8% (28年度:90.4%)	90.2% (29年度決算見込み)

27年度 28年度 29年度 30年度 31年度

◆ 実績 ■ 目標 ▲ 【参考】中核市

29年度は、経常経費が減少（▲1億円）したことや、市税や地方消費税交付金などの経常一般財源が増加（+15億円）したことにより、前年度比で、1.6ポイント改善した。

引き続き、経費節減に努めていく。

イ 実質公債費比率（低い方が望ましい指標）

財政指標 (目標値)	計画策定時点（平成26年度）決算値		実績値
	高松市	中核市平均	
10.0%	9.2% (28年度:9.0%)	7.3% (28年度:6.8%)	8.7% (29年度決算見込み)

27年度 28年度 29年度 30年度 31年度

◆ 実績 ■ 目標 ▲ 【参考】中核市

過去の大型事業の償還の終了などによる市債償還額の減、市債償還に対する国からの財源措置の増等により、前年度比で、0.3ポイント改善し、目標を達成した状況を継続している。

今後も有利な起債を選択し、財政負担軽減を進めていく。

(3) 目標効果額と実績効果額

- 計画期間内に実施する取組における期待される効果額

約8億1千万円

(千円)

目標効果額	28年度	29年度	30年度	31年度	累計額
歳入	11,133	34,107	55,654	65,755	166,649
歳出	98,998	128,972	190,809	230,984	649,763
効果額 (単年度)	110,131	163,079	246,463	296,739	816,412
効果額 (累積)	—	273,210	519,673	816,412	

(千円)

実績効果額	28年度	29年度	30年度	31年度	累計額
歳入	59,247	103,032	—	—	162,279
歳出	115,354	223,614	—	—	338,968
効果額 (単年度)	174,601	326,646	—	—	501,247
効果額 (累積)	—	501,247	—	—	

○ 取組項目ごとの内訳（平成 28～29 年度効果額）

取組項目	実施 項目数	効果額（千円）		達成度
		目標	実績	
1 信頼される職員の育成と質の高いサービスの提供				
(1) コンプライアンスの徹底	1	—	—	
(全局共通取組項目)「コンプライアンス推進施策」の実施				
(2) 職員の意識改革、能力向上	5	—	—	
(全局共通取組項目) 職位ごとに求められる責任、役割の認識				
(全局共通取組項目) 専門性の維持、向上				
(全局共通取組項目) 技術継承の推進				
(3) 組織の活性化	3	—	—	
(全局共通取組項目) 人事評価制度の適正な運用				
(全局共通取組項目)「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備				
(4) 仕事の進め方の見直し	2	—	—	
(全局共通取組項目) 各課における「業務マニュアル」の見直し				
2 持続可能な財政運営の推進				
(1) 自主財源の確保	16	55,648	193,074	347.0
(2) ファシリティマネジメントの推進	10	18,322	91,056	497.0
(3) 定員・給与の適正化	3	45,800	0	0
(4) 社会保障費の抑制	6	104,574	108,894	104.1
3 成果を重視した行政運営の推進				
(1) 事務事業の改革	22	32,291	35,088	108.7
(2) 業務の委託化・民間活力の導入	4	—	—	
(3) 最適な行政サービスの提供	16	16,307	72,926	447.2
(4) 施設の効率的運営・利用率向上	7	268	209	78.0
4 参画と協働によるまちづくりの推進				
(1) 市民の市政参画意識の醸成と協働の取組	10	—	—	
(2) 職員の協働意識の向上	2	—	—	
(3) 市政の見える化	1	—	—	
合計	108	273,210	501,247	183.5

3 計画に変更のあった実施項目等

(1) 計画に追加した実施項目

分類番号	2 - (2) (ファシリティマネジメント の推進)	担当所属	環境局 環境施設対策課	
実施項目	公衆便所管理等事業			
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <p>公衆衛生の観点から、市民並びに来訪者の需要に応えるために設置している公衆便所については、適正な管理を行うとともに、周辺状況の変化に則し、市民トイレの廃止を行うなど経費の削減に努めてきたところである。</p> <p>今回「改善」の判定を受けたことから、個々の便所について周辺状況や利用状況を調査し、必要性を取りまとめ、廃止できる便所を抽出し、関係者と協議を進める。</p> <p>また、ネーミングライツ事業の導入の可能性を探るなど、新たな財源確保に努める。</p>			
個別目標	<p>平成 28 年度</p> <p>栗林公園前公衆便所の清掃委託内容の見直しを行う</p> <p>平成 29 年度以降</p> <p>①公衆便所の周辺状況や利用状況の調査</p> <p>②個々の公衆便所の必要性を検討し、廃止できる便所の抽出</p> <p>③関係者と協議</p> <p>④ネーミングライツ事業の導入の可能性の検討</p>			
実施工程	29 年度	30 年度	31 年度	
	①～④の実施	③の実施	③の実施	

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	創造都市推進局 文化財課	
実施項目	歴史資料館管理運営事業（ほか関連 4 事業）			
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料館管理運営事業 ・歴史資料館常設展事業 ・讃岐国分寺跡資料館管理運営事業 ・香南歴史民俗郷土館管理運営事業 ・石の民俗資料館管理運営事業 <p>集客力アップに向けた P R 方法等の見直し。</p>			
個別目標	集客方法の調査、研究及び広報アドバイザー制度の活用等 P R 方法を見直す。			
実施工程	29 年度	30 年度	31 年度	
	4 館計 140,000 人	4 館計 140,000 人	4 館計 140,000 人	

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	教育局 生涯学習課生涯学習センター	
実施項目	コミュニティセンター講座等事業			
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <p>現在、市内 5 2 コミュニティセンターにおいて、生涯学習に関する講座の開催を委託している。</p> <p>生涯学習に関する地域のリーダー養成を重視するとともに、コミュニティの再生につながる事業となるよう、講座の開催方法や内容等について見直しを図っていく。</p>			
個別目標	<p>地域の生涯学習をコーディネートするキーパーソンを養成する「生涯学習コーディネーター養成講座」の受講者数を増加させる。</p> <p>27 年度受講者数 464 人</p>			
実施工程	29 年度	30 年度	31 年度	
	480 人	490 人	500 人	

分類番号	3 - (2) (業務の委託化・民間活力の導入)	担当所属	教育局 中央図書館	
実施項目	図書館運営事業 (ほか関連 1 事業)			
実施内容 (概要)	<p>【平成 28 年度外部評価対象事業】</p> <p>直営での運営体制を継続し、本市図書館協議会の意見を参考に、より効果的・効率的な事業運営を行う。</p> <p>また、指定管理者制度導入等については、外部評価の結果を踏まえ、中・長期的な視点の中で、他都市の導入事例などを調査・研究し、慎重に、様々な面から導入の可能性を検討する。</p>			
個別目標	より効果的・効率的な事業運営を行う。			
実施工程	29 年度	30 年度	31 年度	
	指定管理者制度等の導入可能性を検討	効率的な運営の検討・実施	効率的な運営の検討・実施	

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	教育局 学校教育課
実施項目	教育資金支援事業		
実施内容 (概要)	【平成 28 年度外部評価対象事業】 財政負担が増加しないように、経済的要件や給付月額は据え置き、その上で、成績要件については 29 年度奨学生より平均 3.1 以上から 3.5 以上に引き上げを行う。		
個別目標	支給対象者の増加が懸念されるが、財政負担が増加しないように成績要件などについて見直しを行う。		
実施工程	29 年度	30 年度	31 年度
	成績要件の引上げの実施	推進	推進

分類番号	4 - (1) (市民の市政参画の醸成と協働の取組)	担当所属	市民政策局 男女共同参画・協働推進課
実施項目	男女共同参画社会推進事業		
実施内容 (概要)	<p>【平成 29 年度外部評価対象事業】</p> <p>男女共同参画週間啓発行事・男女共同参画市民フェスティバル・男女共同参画推進懇談会の開催において、広報たかまつ、高松市ホームページ及び高松市商工会議所会報誌に掲載するほか、報道機関への情報提供、各地区のコミュニティセンター等への周知用チラシの設置や事業所へのチラシの郵送等を行う。また、Facebook 等の SNS を利用した効果的な周知を図っていくとともに、講演会終了後は、開催概要を講演者の了承を得てホームページに掲載する。</p> <p>さらに、高松商工会議所に講演会募集のホームページへのリンクを依頼するとともに、より多くの民間団体等にも連携協力を呼びかける。</p>		
個別目標	<p>①Facebook 等の SNS を利用した周知</p> <p>②講演会終了後、開催概要を講演者の了承を得てホームページに掲載</p> <p>③講演会参加者募集のホームページへのリンクの依頼</p> <p>④高松商工会議所を始め、より多くの民間団体等への連携協力依頼</p>		
実施工程	30 年度	31 年度	
	①、②、③、④	①、②、③、④	

分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	担当所属	市民政策局 くらし安全安心課
実施項目	交通事故相談事業		
実施内容 (概要)	<p>【平成 29 年度外部評価対象事業】</p> <p>市民が気軽に相談できる窓口として、もっと認知度を上げる必要があり、広報たかまつ以外の広報について改善するなど、利用者数を増加させる。</p> <p>①チラシを作成し、本市以外の相談窓口や交通安全教室などで配布する。</p> <p>②相談窓口を本庁舎 1 階の消費生活センター内に移設する。</p>		
個別目標	<p>①平成 29 年度の半ばから、交通安全教室などで配布・周知する。</p> <p>②平成 30 年 4 月を目途に移設する。</p>		
実施工程	30 年度	31 年度	
	①、②の実施	①の実施	

分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	担当所属	健康福祉局 長寿福祉課
実施項目	高齢者福祉通信機器貸与等事業		
実施内容 (概要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 「日常生活の不安や孤独感の解消できない方」については、既存事業のあんしん通報サービスが、緊急時だけでなく、高齢者が登録した方に対し、コールセンターを通じて自分に電話してもらうよう依頼できる両方の機能を有することなどから、新規の受付を中止する方向で実施する。		
個別目標	平成 29 年度で新規貸与は原則終了とする。		
実施工程	30 年度	31 年度	
	新規貸与は実施しない。	—	

類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	担当所属	健康福祉局 長寿福祉課
実施項目	高齢者住宅改造助成事業		
実施内容 (概要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 所得制限の要件である「生計中心者の前年中の所得が 5 0 0 万円以下」を、「世帯全員が市民税非課税」へ変更する方向で検討する。		
個別目標	平成 30 年度から所得制限の要件を、世帯全員が市民税非課税に変更する。		
実施工程	30 年度	31 年度	
	所得制限の要件を、世帯全員が市民税非課税に変更する。	—	

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 農林水産課
実施項目	市民農園整備事業		
実施内容 (概要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 市民農園の利用率が伸び悩んでいるが、各農園の利用率は開設場所の選考時において、ある程度予想できる要因もあることから、事業の対象とする市民農園の採択に係る審査基準を点数化するとともに、立地条件や集客見込みに重点を置き、利用者の見込める農園を採択する。		
個別目標	市民農園の利用率を向上させる。 市民農園の利用率 H 2 8 年度 : 85.4% 最終目標 : 90% (H34 年度)		
実施工程	30 年度		31 年度
	市民農園の利用率の目標 86%		市民農園の利用率の目標 87%

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 観光交流課
実施項目	観光ボランティアガイド育成事業		
実施内容 (概要)	【平成 29 年度外部評価対象事業】 若年層ガイドの育成を行うため、ガイドを行っている 3 か所 (玉藻公園・屋島・サンポート高松) の各施設・スポットごとの募集や地元の学校との連携を働きかける等、募集方法や募集内容を見直す。 また、他の団体におけるガイドの待遇やインバウンド対応について確認するとともに、今後の通訳案内士の動向を踏まえ、協会の在り方を検討する。		
個別目標	<若年層ガイドの育成> ①ガイドエリア・ガイド内容の調査。 ②ガイド用原稿及び説明資料の作成。 ③地元の学校に働きかける。 <協会の在り方検討> ④他団体の現状調査。 ⑤他団体の現状を踏まえ、協会の在り方を検討する。		
実施工程	30 年度		31 年度
	①、②、③、④、⑤の実施		③、⑤を引き続き実施

分類番号	3 - (1) (事務事業の改革)	担当所属	創造都市推進局 観光交流課
実施項目	観光団体育成事業		
実施内容 (概要)	<p>【平成 29 年度外部評価対象事業】</p> <p>全団体に対して、目的や事業内容等について、ヒアリングを行い、事業の必要性を検討する。また、28 年度の決算における自主財源及び繰越金の合計額が事業費を上回る団体に対して、30 年度の補助を見送ることとする。</p> <p>ただし、29 年度執行状況も勘案した上で判断する。</p> <p>担当者が各団体に出向き、厳密な監査を行う。</p> <p>竜桜公園の維持管理については、委託料としての支出についても併せて検討する。</p> <p>ヒアリングの結果を踏まえ、各団体への補助の必要性を勘案しながら、補助金の使途、交付要件について基準を定める。</p>		
個別目標	<p>①団体の目的、事業内容、使途についてヒアリングを行い、補助の必要性を精査する。</p> <p>②精査のうえ、補助を必要としないと判断した団体について、平成 30 年度予算要求を行わない。</p> <p>③年度末に、担当者等による監査</p> <p>④使途、補助効果を検証の上、交付基準を作成</p> <p>⑤交付基準に基づき、予算要求</p> <p>⑥交付基準に基づいて運用</p>		
実施工程	30 年度	31 年度	
	①、②、③、④、⑤、⑥の実施	①、②、③、④、⑤、⑥の実施	

(2) 中止とした実施項目

平成 29 年度に中止とした実施項目はなし

Ⅱ 各 論

1 局進行管理

(1) 取組状況（局別）

局 名	実 施 項 目	A 実施済	B 着手済	C 未着手	D 中止	E 未到来	H28-H29 取組項目
市民政策局	7	6	1				7
総務局	14	11	3				14
財政局	12	9	3				12
健康福祉局	13	8	5				13
環境局	10	3	6			1	9
創造都市推進局	17	6	11				17
都市整備局	9	4	5				9
消防局	5	5					5
病院局	6		6				6
上下水道局	9	6	3				9
教育局	6	1	5				6
合 計	108	59	48			1	107

(2) 目標達成度（局別）

局 名	H28-H29 取 組 項 目	5 達 成	4 おおむね 達 成	3 ある程度 達 成	2 やや下回 っている	1 かなり下回 っている	0 全くでき なかった
市民政策局	7	3	1	2		1	
総務局	14	5	7	1	1		
財政局	12	4	6	1		1	
健康福祉局	13	9	3	1			
環境局	9	7	1			1	
創造都市推進局	17	11	2	1	3		
都市整備局	9	2	4		1	1	1
消防局	5	3	2				
病院局	6		6				
上下水道局	9	4	4	1			
教育局	6	1	2		2	1	
合 計	107	49	38	7	7	5	1

5達成：100%以上 4おおむね達成：100%未満～85%以上 3ある程度達成：85%未満～70%以上

2やや下回っている：70%未満～60%以上 1かなり下回っている：60%未満 0全くできなかった：0%

(3) 効果額 (局別)

(千円)

局名	平成 28-29 年度目標効果額			平成 28-29 年度実績効果額			進捗率 (%)
	計	歳入	歳出	計	歳入	歳出	
市民政策局	—	—	—	—	—	—	—
総務局	45,800	0	45,800	0	0	0	0
財政局	29,000	29,000	0	135,202	135,202	0	466.2
健康福祉局	134,629	0	134,629	141,745	0	141,745	105.3
環境局	17,946	268	17,678	87,127	209	86,918	485.5
創造都市推進局	13,556	0	13,556	37,379	0	37,379	275.7
都市整備局	750	750	0	0	0	0	0
消防局	72	72	0	5,841	5,841	0	8112.5
病院局	—	—	—	—	—	—	—
上下水道局	31,457	15,150	16,307	93,953	21,027	72,926	298.7
教育局	—	—	—	—	—	—	—
合計	273,210	45,240	227,970	501,247	162,279	338,968	183.5

2 局進行管理制

市民政策局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに、「新コンプライアンス推進施策」に基づき、リスクマネジメント会議におけるヒヤリハット事例に関する情報共有や、コンプライアンス推進日（毎週金曜日）の朝礼時における地方公務員法の唱和を行うことなどにより、コンプライアンス意識と公務員としての自覚の醸成に努めました。 また、牟礼総合センターにおいては、毎週火曜日に「コンプライアンスハンドブック」等を活用したコンプライアンス研修を実施しました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課ともに、事務分担表と年間スケジュールを作成した上で、担当の役割を明確にするための打ち合わせを行いました。 また、毎月、翌月の月間スケジュールを作成した上で、業務打合せを実施し、担当業務別に進捗状況の確認や課題の情報共有を図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	市町村・国際文化アカデミーの長期研修などへの参加やOJT（職場内研修）を通じて、担当職員に必要な専門的知識の維持、向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課ともに、一業務を複数人が関わる体制の整備や、日常業務の中で経験豊富なベテラン職員が業務に関する助言・指導を行うことにより、専門知識や技術の継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、人事評価の能力評価及び業績評価について、所属職員との面談を通して、情報・目標の共有、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、あいさつや声かけを積極的に行うほか、リスクマネジメント会議において課題や懸案事項に関する情報を共有することなどにより、風通しのよい職場の実現に努めました。 また、市民課では、課内の若手職員で構成しているステップアップ委員会において、課内業務における課題等について検討を行うことにより、「人財」の育成を図りました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課ともに、業務別マニュアルを作成・活用するとともに、必要に応じて更新を行いました。 また、市民やすらぎ課及び市民課が改正するマニュアルについては、随時、各総合センターにも提供し、周知しています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

市民政策局

▶ 平成28~29年度の取組実績評価（局評価）

達成度		
取組項目数	7 件	効果額
【取組状況】		目標効果額
実施済	6 件	実績効果額
着手済	1 件	歳入
未着手	件	歳出
中止	件	計
未到来	件	
【実施・着手率】	100% %	【達成率】
		— %
		【達成率】※の割合
		42.9% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
4 - (2) 協働企画提案事業の見直し	平成29年度は、新規2事業、継続1事業を採択実施し、提案団体、関係課、アドバイザー（高松市協働づくり懇談会委員）が、きめ細やかな協議を重ね、事業のブラッシュアップを図ることで、事業内容が充実し、協働への理解が深まるとともに、事業の質の向上につながりました。	

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
4 - (1) 自治会活動の活性化	引き続き、自治会加入への啓発活動などを行う中で、今後の自治会の在り方や役割等について、抜本的に見直すこととしたため、実効性ある自治会加入促進対策の取りまとめには至りませんでした。 なお、効果が不明瞭であった「自治会加入・結成奨励補助」及び「自治会集会所管理運営補助」は、平成29年度末をもって廃止しました。

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会活動に関するアンケート調査を実施したほか、効果が不明瞭であった「自治会加入・結成奨励補助」及び「自治会集会所管理運営補助」は、平成29年度末をもって廃止しました。 ●協働企画提案事業について、新規2事業、継続1事業を採択実施しました。 ●平成28年度よりコミュニティバスの新規導入に取り組んでいた1地区において、平成29年度も引き続き導入支援を1件実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●地域コミュニティ協議会の中核組織である自治会の加入率低下に歯止めをかける方策が必要です。 ●地域コミュニティ協議会組織の構築からおおむね10年以上が経過し、各地域の活動への理解や取組状況に温度差がみられ、民主的な組織運営や適正な会計処理など、自主・自立の成熟が必要です。 ●地域コミュニティ協議会や市民活動団体等と行政の双方が、協働への理解をより深めることが求められます。 ●地域の公共交通に対する意識と、高松市の考える公共交通との間にかい離があるため、考え方の共有を図る必要があります。 ●地域で公共交通を支えようとする意識の醸成を図る必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会加入促進策について、今日の自治会の役割や目的を検証した上で、地域とともに実効性のある具体的な方策を検討していきます。 ●これまでのコミュニティ施策の検証に基づく対応策を着実に実行していくとともに、今後の目指すべき「地域コミュニティ協議会」の在り方を取りまとめ、地域と共有します。 ●協働企画提案事業について、提案団体、関係課、アドバイザー（高松市協働づくり懇談会委員）が、きめ細やかな協議を重ね、事業のブラッシュアップを図ることを通じて、それぞれが協働への理解を深めるとともに、事業の充実や市民サービスの向上を目指します。 ●地域で導入した公共交通について、成功事例を取り上げたPRを行います。 ●コミュニティバス導入を検討する地域へ出向き、説明を行います。

総務局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンスを徹底しました。特に、リスクマネジメント会議の活性化に重点を置き、ヒヤリ・ハット事例について情報共有を図るとともに、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	人事評価制度の業績目標を活用し、職位ごとに、懸案事項に対する達成水準や達成方策を明確にし、各自に求められる責任や役割の認識に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	総務課、コンプライアンス推進課など関係課と共同で、文書取扱主任等を対象とした各種取扱主任等事務説明会を開催し、文書事務や情報公開制度等について職員の専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	情報政策課において、ベテラン職員と若手職員がペアを組み、日常業務を行う中で、技術継承の推進に努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価面談を通じて、職場内の課題認識及び情報共有を行うとともに、コミュニケーションの活性化を図り、風通しの良い職場環境づくりに努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	総務局の目標「気づき・予防」及び局内各課の目標を設定し、目標達成に向けて課題認識及び情報共有を図りました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	人事課行政改革推進室において、運用を開始した事務処理改善マニュアルについて、効果検証を行い、改善を図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

総務局

▶ 平成28～29年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	14	件	効果額		取組項目数
【取組状況】			目標効果額	45,800	千円 ※達成
実施済	11	件	実績効果額	0	※おおむね達成
着手済	3	件	歳入	0	ある程度達成
未着手		件	歳出	0	やや下回っている
中止		件			かなり下回っている
未到来		件	計	0	全くできなかった
【実施・着手率】	100%	%	【達成率】	0%	【達成率】※の割合
					85.7%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
1-2 人材育成の推進	イクボス研修については、開催回数を2回に拡充するとともに、11月に働き方改革を推進するリーダー宣言である、高松市版イクボス宣言「もっとイクボス」を行い、働き方に対する意識改革やワークライフバランスの推進を図りました。	—
1-2 情報セキュリティ研修の実施	情報セキュリティ管理者33名に集合研修を実施したほか、非常勤嘱託職員を含む職員4,555名を対象とした標的型メール訓練を実施したことなどにより、職員のセキュリティ意識が向上しました。	—

実績概要

成果	ホームページの充実について、急速な情報通信技術の発展やJIS規格の改定等に対応できるよう、平成28年度から、新たなホームページ管理システムの再構築に着手し、30年3月1日から、民間の先進的技術やノウハウ等を活用した新システムの稼働を開始しました。
課題	コンプライアンスの徹底について、「新コンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種の取組を進めたものの、「市職員としてのコンプライアンスを理解している職員の割合」については、前年度に比べ1.4ポイント下降し、目標値の達成には至りませんでした。
今後の取組	「受益者負担見直し基準」の見直しについて、策定から10年以上経過していることから、関係課に対して実施した使用料及び手数料等の算定方法、受益者負担の程度についての調査結果を踏まえ、今後、統一的な基準設定の可否等を検討しながら見直しを行います。

財政局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	定期的なリスクマネジメント会議を開催し、職場におけるヒヤリ・ハット事例等について協議するとともに、朝礼において、定期的な不祥事撲滅推進プログラムや地方公務員法第30条等を課内全員で唱和し、コンプライアンス意識の向上に努めています。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	朝礼や係長会などにおいて定期的に業務内容を課内で共有するとともに、年度における課の目標を面談等により各職員につたえ、各職位の責任や役割について認識を深めています。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	課内での勉強会や職場内研修を実施することで、課員の知識や技能の維持・向上に努めています。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	在課年数の長い職員と短い職員がバランスよく配置されるよう、課内体制を工夫するとともに、定期的に担当業務を入れ替えることで、前任者が在課している間に知識を継承するよう努めています。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度に基づき、公平で客観的な評価を行うとともに、面談を行うことで係長や管理職による目標の適正な管理と部下との意思疎通を図っています。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	上司・部下への報告、連絡、相談を適宜行い、情報の共有化を積極的に行うとともに、あいさつや声かけなどのコミュニケーションの強化に努めることにより、風通しの良い職場環境の醸成に努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	係や課単位での「業務マニュアル」を作成しており、最新の内容になるよう、適宜見直しを行っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

財政局

▶ 平成28~29年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	12	件	効果額		取組項目数
【取組状況】			目標効果額	29,000	千円 ※達成
実施済	9	件	実績効果額	135,202	千円 ※おおむね達成
着手済	3	件	歳入	135,202	千円 ある程度達成
未着手		件	歳出	0	千円 やや下回っている
中止		件	計	135,202	千円 かなり下回っている
未到来		件			全くできなかった
【実施・着手率】	100%	%	【達成率】	466.2%	%
					【達成率】※の割合 83.3% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2-(1)	スポーツ施設等を対象とした命名権や、施設案内表示板への広告掲載など、公共施設を活用した広告収入の確保に取り組みます。	
ネーミングライツの導入	屋島競技場の命名権 (株)レクザムと契約 年額8,640千円(29年度から5年間) 本庁舎広告付案内表示板 表示灯(株)と契約 月額174千円 広告付催事案内表示板 表示灯(株)と契約 月額162千円(28年度は9ヶ月)	12,042千円

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2-(1)	未利用地について他課から所管換えを行い、一般競争入札による売払処分を積極的に進め、効果額目標を達成することが出来ました。今後も廃止施設の跡地等についても適切な売払を行い、財源の確保に努めます。	123,160千円

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
2-(1)	平成28年度までに、職員団体と自家用車駐車場の有料化及び減免案について合意に至ることができませんでした。平成29年度においては、公有財産の管理面や福利厚生面からの検証を行うものの、新たな案の作成には至りませんでした。今後も、改めて他都市の近況等を参考にしながら、新たな制度導入案や手法を検討し、職員駐車場有料化制度の導入に向け職員団体への働きかけを行う予定です。

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●ネーミングライツ事業については、屋島競技場の命名権や、庁舎案内板等への広告掲載により収入を確保しました。引き続き、新たな取組の導入について検討していきます。 ●用途廃止地や旧保留地、元法定外公共物（元農道・水路跡地）などの未利用地の一般競争入札等による売却を推進し、効果額目標を大幅に上回る成果を得ました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●出先施設における職員の自家用車駐車場の有料化については、職員組合から受け入れられない旨の回答があり、協議が中断していますが、再度有料化の合意に向け、粘り強く交渉を継続する必要があります。 ●ネーミングライツ事業は、民間活力を利用した有効な自主財源確保策であることから、地元企業等が応募しやすい条件を検討する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●出先施設における職員の自家用車駐車場の有料化については、改めて他都市の近況等を参考にしながら、新たな制度導入案や手法を検討し、職員駐車場有料化制度の導入に向け、職員団体への働きかけを行う予定です。 ●先進都市の事例も参考にしながら、インフラ施設への対象拡大や、ネーミングライツの対価を役務提供に求める募集方法などを検討します。

健康福祉局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	地方公務員法第30条などの唱和に加え、リスクマネジメント会議での議論など、新コンプライアンス推進施策に記載の各施策を実践し、コンプライアンス意識の醸成に努めました。 また、各所属で実施しているリスクマネジメント会議においては、ヒヤリ・ハット事例を洗い出し、その分析や防止策の検討、想定されるリスクの予防措置を行うなど、会議の更なる充実を図ることでリスクマネジメントの強化を図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	毎月末に局内課長会を、課においては毎月初めに係長会を実施し、各課（係）の行事予定や懸案事項の進捗について報告を行うことで、情報共有を行うとともに、それぞれの役職に応じた説明責任を負うこととなり、課せられた役割について再認識できています。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	長寿福祉部において、介護制度の改正に関する研修を部全体で実施し、専門性の維持・向上に努めました。 地域包括支援センターにおいて、全職員を対象とした毎月の職員研修会において、専門研修の復講や地域ケア小会議の報告を行うほか、介護予防ケアマネジメント検討会や権利擁護検討会等を定期的で開催し、職務の専門性の維持・向上を図りました。 保健センターにおいて、毎月1回、定例の職員研修会を開催し、多様な内容の研修を実施するなど、保健師等の専門職の職務遂行能力の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	こども未来部において、新任職員を対象に、「こども未来部新規職員合同研修会」を実施し、子ども子育て支援に関する基本的な知識の習得や関係課の業務に関する見識を深めるなど、福祉に関する基礎的な知識の習得と技術の継承を推進しました。 地域包括支援センターにおいて、介護予防ケアマネジメントの手法等について詳細なマニュアルを作成の上、それをを用いた研修・勉強会を実施し、担当職員間で情報共有・共通認識を図っています。また、新任職員には、着任当初その都度研修を行っているほか、必ず指導員（プリセプター）を付け、専門的知識・技術の継承を行っています。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	期初・中間・期末面談を通じて、評価するためのものだけではなく、職員とのコミュニケーションの活性化を図るとともに、公平性・客観性・透明性を保ちながら職員の能力・業績を適正に評価することで、適正な運用に努めています。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	局内各所属において、ノー残業デー、プレミアムフライデーの積極的な実施等、ワークライフバランスの推進を図りながら、風通しの良い職場作りを行い、職員一人一人が能力を最大限に発揮できるような職場環境の整備に努めました。 また、局長と所属長の面談や、局長が講師となり局内の課長補佐や係長等を対象として研修を実施し、健康福祉局を取り巻く課題や対応方針などの共有に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	局内全所属において、「業務マニュアル」や「不祥事撲滅推進プログラム」について、内容を確認するとともに、情報管理上や職務遂行時の事故・トラブル等が発生した際には、その都度、見直しを実施し、業務内容の理解と適切な執行体制の構築を図りました。 国保・高齢者医療課においては、事務改善検討チームを立ち上げ、課内の係間の調整だけでなく、本課や市役所全体における問題も常に視野に入れて問題解決に取り組み、それを業務マニュアルに反映しました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

健康福祉局

▶ 平成28~29年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	13	件	効果額		取組項目数
【取組状況】			目標効果額	134,629	千円 ※達成
実施済	8	件	実績効果額	141,745	千円 ※おおむね達成
着手済	5	件	歳入	0	千円 ある程度達成
未着手		件	歳出	141,745	千円 やや下回っている
中止		件			かなり下回っている
未到来		件	計	141,745	千円 全くできなかった
【実施・着手率】	100%	%	【達成率】	105.3%	%
					【達成率】※の割合 92.3% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (2) 幼稚園、保育所の在り方	「高松市幼保連携型認定こども園整備基本計画」に基づき、市立の幼稚園・保育所を統合することで、就学前の子どもに対し、等しく質の高い教育・保育環境を提供するとともに、施設の維持管理経費等の削減を図りました。	認定こども園の整備 2件 (林・川島地区幼保連携型認定こども園) 認定こども園開園 1件 (川東こども園)

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●合併地区保健センター（跡施設）について、「地域保健活動センター」として、市民の健康の保持及び増進を図るための施設としての利用に供するとともに、地域住民等の意向を踏まえ、高齢者の居場所、子ども食堂の実施場所、及び新しい総合事業の実施場所等としても有効活用することとしました。 ●「生活保護受給者等就労自立促進事業」実施計画における就労者数の目標を達成し、就労を開始した被保護者の就労収入額を増加させることにより、生活保護費を削減しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険、介護保険給付費の適正化 ●介護予防事業の積極的な実施による要介護状態の人の抑制 ●地域包括支援センター出先機関の跡施設の有効活用等
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険・介護保険給付費の適正化に向け、国の公費が優先的に投入される保険者努力支援制度を最大限活用し、糖尿病性腎症重症化予防プログラム支援対策や特定健診の受診率向上対策、重複服薬対策等の保健事業を積極的に実施し、更に取組を進めていきます。 ●介護予防の場や教室を増やすとともに、住民のボランティア活動の支援に取り組むほか、通所型サービス等のマネジメントなどを適切に実施し、要介護状態の人の抑制を図ります。 ●地域包括支援センターの出先機関を統廃合した、跡施設の有効活用や管理運営方法の在り方を検討していきます。

環境局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課において、リスクマネジメント会議を毎月2回実施し、ヒヤリ・ハット事例などの情報共有やコンプライアンスに関する周知・意見交換を行うとともに、コンプライアンス推進日におけるCSクレド等の唱和や研修の実施、資料の回覧等を通して、法令遵守意識の向上を図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、業績目標の設定及び面談、年間スケジュールの作成、業務マニュアルの活用、係長会・係内会議等における業務の進捗状況の打合せ・報告等を通じて、各職員が責任と役割を認識するよう取り組みました。また、衛生センターでは、担当の役割を明確化するため、係ごとの重点目標シートを作成し打合せを行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、職場外研修や資格取得講習の受講を促進したほか、専門的な情報について会議や資料の回覧等で情報共有を行いました。また、環境指導課適正処理対策室及び環境業務課では、職員の担当地区の配置換えにより、収集に必要な地域情報と経験を蓄積できるよう努めるとともに、西部クリーンセンターでは、業務に必要な資格の未取得者をリストアップし、計画的に受講、受験を促すことにより資格の取得促進を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、業務マニュアルの活用により業務に必要な知識・技術の継承を図ったほか、上司や先輩職員によるOJTを実施しました。また、環境業務課では、新任職員に対し実務研修を実施したほか、南部クリーンセンターでは、モニタリングや管理運営事業者との打合せを通して知識・情報の共有を推進しました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに、面談を適切に実施し、各職員が職務の遂行において発揮した能力及び達成した実績を公平かつ公正に評価しました。また、環境施設対策課では、面談時に評価の基準について説明し、評価者と被評価者の基準が同じとなるよう取り組みました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	局内のオフサイトミーティングを年2回実施したほか、各課において、朝礼時のスピーチ、管理職の声掛け、日常的なミーティングの開催、挨拶の励行などを通して、職員間のコミュニケーションを積極的に行うとともに、管理職の人事評価の目標を職員に提示し、課の取組事項の共有に取り組みました。また、環境業務課では、職場の整理整頓を呼びかけ、働きやすい職場づくりに重点的に取り組みました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課において、日常業務におけるヒヤリ・ハット事例などを適宜、業務マニュアルに反映するとともに、年度末にマニュアルの確認・見直しを行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

環境局

▶ 平成28~29年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	10	件	効果額		取組項目数
【取組状況】			目標効果額	17,946	千円 ※達成
実施済	3	件	実績効果額	87,127	千円 ※おおむね達成
着手済	6	件	歳入	209	千円 ある程度達成
未着手		件	歳出	86,918	千円 やや下回っている
中止		件			かなり下回っている
未到来	1	件	計	87,127	千円 全くできなかった
【実施・着手率】	100%	%	【達成率】	485.5%	%
					【達成率】※の割合 80.0% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 - (2) し尿と下水の共同処理事業	平成29年4月から、衛生センターでし尿等の前処理後、東部下水処理場へ移送し、下水とし尿等の共同処理を本格実施したことにより、し尿等の処理経費を大幅に縮減しました。	▲86,678千円

▶ 目標達成度がかかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
3 - (1) 家庭系ごみ収集運搬に係る既委託業務の契約方法等の見直し検討	委託契約に競争が働く契約方法について、積算根拠の見直しや関係団体等との意見交換会の開催など検討を進めましたが、関係団体等との調整に時間を要することとなりました。今後も、引き続き調整を継続していきます。

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●西部クリーンセンター焼却施設の基幹的設備改良工事において、計画どおり蒸気タービンの更新を完了し、発電能力の向上を図りました。（1,400 kW→3,000 kW） ●下水とし尿等の共同処理を本格実施しました。 ●直営の家庭系ごみ定期収集部門の委託化について、平成30年度から開始となる第一期分の入札を行い、業者を決定するとともに、業者との情報共有や直営収集体制の見直しを行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭系ごみ収集運搬に係る既委託業務の契約方法等の見直しについては、関係団体等との調整を継続していく必要があります。 ●1人1日当たりのごみの再資源化量は、近年減少傾向となっています。 ●太陽光発電事業者への市有地の有償貸出しについては、新規の対象案件がありませんでした。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●西部クリーンセンター焼却施設の基幹的設備改良工事に伴う発電能力の向上を生かし、電力の自給及び余剰電力の売却を推進します。 ●「高松市ごみ分別アプリ」などを活用したごみに関する情報発信に努めるとともに、「使用済小型家電リサイクル事業」や「紙資源リサイクルの推進」を継続実施することにより、1人1日当たりの再資源化量の増加を目指します。 ●直営の家庭系ごみ定期収集部門を平成30年度から段階的に委託し、収集車の減車を図ります。

創造都市推進局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している施策を実践し、コンプライアンス意識の徹底を図りました。月2回開催しているリスクマネジメント会議では、事故や不祥事の発生を未然に防ぐことについて話し合いを行い、リスク管理に係る職員への意識づけを徹底して行いました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	複数の課において、定期的に係長会を開催し、各係が抱えている課題等を共通認識するとともに、適切な指示を行うことで、業務を円滑に遂行できるよう努めました。また、年間スケジュールを作成し、定期的に業務の進捗状況の確認を行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	市場業務課においては、卸売物品の検査や施設の修繕等の際には、実務能力等を身につけた職員が周囲の職員に知識を伝えることで、専門性の維持などに努めました。文化財課においては、職員（文化財専門員及び学芸員）の専門的知識について意見交換を行ったほか、市内外の埋蔵文化財センター及び資料館施設への照会・借用を通して、更なる専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	文化財課においては、発掘調査及び展示等において、経験豊かな職員（文化財専門員及び学芸員）による指導を積極的に進め、各文化財専門員及び学芸員が日常業務の中で技術継承できるように取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課ともに人事評価の能力評価及び業績評価において、十分な面談を通してコミュニケーションの活性化を図り、年間業務の効果的な目標設定を行うとともに、人材育成及び適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	「高松市職員人材育成ビジョン」に基づき、複数の課において、リスクマネジメント会議等のミーティング機会を活用し、課内で職場目標を共有するほか、風通しの良い職場の実現に向けて取り組むなど、職場環境の整備に努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	複数の課において、人事異動時期に限らず、随時各担当の業務マニュアル等の見直しを行うことで、多様化する業務に正確かつ迅速に対応できるよう取り組みました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

創造都市推進局

▶ 平成28~29年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	17	件	効果額		
【取組状況】			目標効果額	13,556	千円 ※達成
実施済	6	件	実績効果額	37,379	千円 ※おおむね達成
着手済	11	件	歳入	0	千円 ある程度達成
未着手		件	歳出	37,379	千円 やや下回っている
中止		件			かなり下回っている
未到来		件	計	37,379	千円 全くできなかった
【実施・着手率】	100%	%	【達成率】	275.7%	%
					【達成率】※の割合 76.5% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2-1	定年・途中退職者の補充を行わないとともに、全従業員を対象とした雇用調整を行い、経費の削減に努めました。	31,004千円
競輪事業の効率的運営		

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●農村環境改善センター等の維持管理について、委託事業の内容等について見直しを行うことなどにより、経費を削減しました。 ●農業団体育成事業の見直しについて、事業成果及び農業振興の低下につながらないよう関係団体との協議を行い、補助金を削減しました。 ●歴史資料館管理運営事業について、広報アドバイザーによるアドバイスをもとに、紙及びデジタル媒体の活用に努めました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校体育施設の開放事業について、受益者負担の導入に向けて、過年度に行った小学校開放運営委員会へのアンケートや他市への調査を踏まえて検討を行いました。多くの問題があり導入には至っていません。 ●観光ボランティアガイド育成事業に関連して、若年層ガイドの育成を行う必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校体育施設の開放事業については、今後、導入に向けての問題解決を図るため、引き続き各校区の開放運営委員会との協議を行います。 ●観光ボランティアガイド育成事業に関連して、若年層ガイドの育成については、今後大学と連携し、大学生による屋島山上のガイドを実施できるよう取り組みます。

都市整備局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンスを徹底しました。特に、リスク事案のリスクマネジメント会議での共有化や、朝礼におけるコンプライアンスに係る講話などにより、日常から職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、所属長を中心として、年間（又は月間）スケジュールを作成するとともに、終礼・係長会等を通じて、時間外勤務の必要性を含め、適切な指示を行っています。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	長期研修への派遣や、資格取得の奨励、業務に必要な専門図書の購入などのほか、日常から業務に係る議論を実施することで、職員間による専門性を高め共有することに繋がっています。特に技術職員を対象に、CADの操作や塗装、防水施工に関する講習会をメーカーの講師を招き実施しました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	日常からOJTによる技術継承等に取り組んでいます。また、個別案件への対応で得た知見等をマニュアル化等を図り、職員で共有化を図っています。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価面談を通じて、課員の業務進捗状況・業務に対する姿勢・能力等を把握し、適正な業務分担、人員配置の検討材料としています。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課において、課題を踏まえた目標設定を行い、課員自らがその役割を認識するとともに、局長オフィスミーティングを始めとしたコミュニケーションを通じて、風通しの良い職場環境の構築を図っています。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	年度の終期・始期に担当者が業務マニュアルに手を加えており、人事異動等に伴う引継ぎなどに活用しています。また、担当者が事務の改善、効率化を図った際に業務マニュアルに反映しています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

都市整備局

▶ 平成28~29年度の取組実績評価（局評価）

達成度		
取組項目数	9 件	効果額
【取組状況】		目標効果額
実施済	4 件	750 千円
着手済	5 件	実績効果額
未着手	件	0 千円
中止	件	歳入
未到来	件	0 千円
【実施・着手率】	100% %	計
		0 千円
		【達成率】
		0 %
		取組項目数
		※達成
		2 件
		※おおむね達成
		4 件
		ある程度達成
		件
		やや下回っている
		1 件
		かなり下回っている
		1 件
		全くできなかった
		1 件
		【達成率】※の割合
		66.7% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2-1 老朽市営住宅の入居者の住替えと住宅の除却	市営住宅全体の適正管理を図るため、老朽化した市営住宅の除却に向け、対象住宅入居者（残数23戸）に対し住替えを推進し、平成29年度末に全入居者の住替えが完了しました。	市営住宅としての用途廃止

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
3-1 レンタサイクル事業の見直し	収入増を目指した利用料の改定（値上げ）については、一時利用の相当数が定期利用へ移行したほか、瓦町駅及び高松駅を除く、定期利用ができない5箇所のサイクルポートの利用件数の減少により、当初見込んでいた一時利用収入が確保できておりません。
4-1 道路愛護団体による道路愛護の推進	市民の道路愛護意識の高揚を図るため、ホームページなどを通じて単位自治会等へ加入の働きかけを行いました。29年度末までの結果として、目標を下回る3団体の新規認定に留まりました。

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●「丸亀町再開発事業の推進」については、適切な指導・助言を行う中、平成26年度に再開発事業準備組合が設立され、27年度には事業の推進計画が策定され、28年度には建物等評価調査業務及び現況測量業務を実施し、29年度は市街地再開発事業の都市計画決定手続きと併せて、基本設計及び資金計画策定業務に着手しましたが、実施主体の事業の遅れにより、業務の完了が翌年度に繰り越しとなりました。 ●「老朽市営住宅の入居者の住替えと住宅の除却」については、対象住宅入居者（残数23戸）に対し住替えを推進し、平成29年度末に全入居者の住替えが完了し、市営住宅としての用途を廃止しました。 ●「放置自転車等対策事業」については、放置自転車の削減に向け、学校等への周知文書を配布するなど、周知・啓発の強化を行うとともに、放置自転車禁止区域における移送・撤去を継続して実施しました。また、市民からの要望に応え、平成28年4月から放置自転車の保管所における返還日時を月～金曜日（9～17時30分）から火～土曜日（10時30分～19時）に見直しました。 ●「景観の保全、形成、創出」については、屋外広告物改修等事業の補助対象となる既存不適格広告物の広告主に対し、ホームページや新聞広告への掲載により、条例・基準の内容や補助制度の活用について周知・啓発を行いました。 ●「市営駐車場の効率的運用及び利用促進」については、平成26年度に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」に基づき、利用促進に努めるとともに、修繕を実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●「レンタサイクル事業の見直し」については、利用料の改定（値上げ）により、一時利用の相当数が定期利用へ移行したため、利用料収入が減少し、収支バランスの更なる健全化が必要となっています。 ●「道路愛護団体による道路愛護の推進」については、市のホームページや広報紙によるPRに努めるほか、地域コミュニティ協議会や自治会に対する本制度の周知を図るなど、新規認定団体数の増加を積極的に行う必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●「レンタサイクル事業の見直し」については、利用促進とイメージアップのため、公募により決定した新デザインを新規整備するレンタサイクルに順次塗装を行うとともに、データ活用型スマートシティ推進事業において、GPSを搭載した車両の位置データを把握し、増加する外国人観光客を対象とする利用促進策を検討してまいります。 ●「道路愛護団体による道路愛護の推進」については、引き続き、広報紙等によるPR、地域コミュニティ協議会や自治会に対する本制度の一層の周知に取り組みのほか、国・県により道路愛護団体事業が実施されている主要な国道、県道に接続する市道において、重点的にマイロード事業の推進を図り、地域の活性化に努めてまいります。

消防局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各所属ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践するとともに、リスクマネジメント会議等によりコンプライアンス遵守の徹底を図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各所属において、補佐会や係長会を行い各種業務の役割を明確化するとともに、担当ごとの進捗状況を把握できるように努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各署において、年間訓練計画を作成するとともに、定期的に各種想定訓練等を行い、専門性の維持向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	局全体として、消防基礎訓練、機関員講習等を行い、若手職員に対する技能伝承を推進しました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、各所属ともに十分な面談を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	平成30年度高松市消防局重点取組項目を定め、職場目標を明確化し、職員の能力を最大限発揮できる職場環境を構築しました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各所属において、各種業務の運用を見直し効率化を図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

消防局

▶ 平成28~29年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	5 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	72 千円	※達成	3 件
実施済	5 件	実績効果額	5,841 千円	※おおむね達成	2 件
着手済		歳入	5,841 千円	ある程度達成	
未着手		歳出	0 千円	やや下回っている	
中止		計	5,841 千円	かなり下回っている	
未到来				全くできなかった	
【実施・着手率】	100% %	【達成率】	8112.5% %	【達成率】※の割合	100.0% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2-(1)	消防車両の更新に伴い、廃棄予定の消防車両12台を売却しました。	
廃棄消防車両の売却		5,841千円

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄予定の消防車両を有効活用するため、消防用車両12台を売却し増収を図りました。 ●まちかど救急ステーションを19か所新規認定し、普通救命講習などの資格講習を128回実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織の育成強化について、大規模災害においてより有効な活動が行えるよう、実践的な訓練を実施します。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●消防屯所整備事業に基づき計画的に消防屯所の整備を行います。 ●自主防災組織の育成強化のため、地域コミュニティ協議会等が実施する訓練の支援を行います。 ●まちかど救急ステーション認定事業所の増加に努めます。

病院局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、朝礼時に地方公務員法第30条の唱和を行うほか、毎月25日をコンプライアンスの日とし、職員への意識付けと醸成に努めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	年間スケジュールを作成し、担当の役割を明確にするため、課長会・係長会など職位ごとの打ち合わせを行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	職務を遂行していく上で専門的な知識が必要な場合には、専門研修等を受講し、知識の習得を行っているほか、必要な認定資格等の取得を促し、スペシャリストの育成にも努めています。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	医療現場での若手職員の技能向上を図るため、日常業務の中で上司や先輩が率先して、技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度の趣旨に則り、組織として、職員の職務遂行の管理やその能力評価を行っています。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	毎年、職場目標のスローガンを定め、職務に対する一体感を呼び起こすほか、各課で毎日の朝礼などを通じて、積極的にコミュニケーションをとるとともに、各職種、各業務毎に開催する会議を定期的に行うなど、風通しのよい職場環境の整備に努めました。また、業務改善の取組の一環として、職員提案用『院長への提言』を設置し、現場からの声が生かせるような組織風土の醸成にも努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	看護手順などの各業務ごとのマニュアルを作成しており、業務の改善と効率化を図るため、適宜見直しを行っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

病院局

▶ 平成28~29年度の取組実績評価（局評価）

達成度			
取組項目数	6 件	効果額	
【取組状況】		目標効果額	
実施済	件	実績効果額	
着手済	6 件	歳入	
未着手	件	歳出	
中止	件	計	
未到来	件	千円	
【実施・着手率】	100% %	【達成率】	— %
		取組項目数	
		※達成	件
		※おおむね達成	6 件
		ある程度達成	件
		やや下回っている	件
		かなり下回っている	件
		全くできなかった	件
		【達成率】※の割合	100.0% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
3 - (3) 高松市病院事業経営健全化計画への取組	医療の「質・透明性・効率性」の確保を図るため、「高松市病院事業経営健全化計画」に掲げた具体的な施策及び数値目標の達成に向けて取り組んだ結果、平成29年度の自己評価は、「順調」又は「概ね順調」の割合が81%となりました。	—

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●メディカルスタッフのスペシャリストの育成については、医療の質の向上を図るとともに、病院機能を強化するために、個々の職員のスキルアップの視点も踏まえ、各職種において特定の専門性を必要とする業務に、必要な認定資格等の取得を促し、それらに従事する職員の育成に努めました。 ●効率的な物品管理体制の構築については、新病院でのSPDシステム導入に向けて公募型プロポーザル方式による業者選定に取り組みました。 ●現年分収納率の向上については、クレジットカード、Iruca決済等、多様な納付方法が選択できることを継続するとともに、来院時等における未納者への接触機会を増やすなど、回収促進に取り組みました。 ●市立病院の統合・再編については、平成27年度において、新病院の建設工事に着手し、30年9月1日の開院に向け、整備を進めております。また、附属医療施設については、早期の開院に向け、全力で取り組みます。 ●経営の健全化については、医療の「質・透明性・効率性」の確保を図るため、「高松市病院事業経営健全化計画」に基づき、目標達成に向けて取り組みました。具体的には、市民病院では、急性期病院としての医療機能を充実するため、常勤医師の増加と診療体制の充実に加え、若手医師を中心とした「救急受入体制」の強化や、地域の医療機関の医師から直通で電話相談ができる「ホットライン」を開設したほか、地域包括ケアシステムの一翼を担う「地域包括ケア病棟」を開設しました。また、塩江分院では、「在宅療養支援病院」として、医師、看護師が24時間・365日体制で患者の在宅療養の支援に、香川診療所では、健康教室や出張講座の実施に積極的に取り組みました。 ●地域住民との相互理解の醸成については、塩江分院では「地域まるごと医療」を基本方針とし、多職種のメディカルスタッフによる訪問指導や健康相談に取り組みました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ●新病院の整備については、平成30年9月1日の開院に向け、移転計画の策定など計画的な整備に取り組む必要があります。また、附属医療施設の整備については、早期に整備用地を取得する必要があります。また、両施設の医療機能については、引き続き国の医療施策の方向性等に対応する必要があります。 ●良質な医療の提供と経営の健全化については、職員全員が、市立病院の基本理念「生きる力を応援します」の実現に向け、「市民から選ばれる病院」となるよう、全力で取り組んでいく必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●市立病院の経営は非常に厳しい状況にあります。新病院への円滑な移転と運営を実施し、災害拠点病院の指定や救急医療の推進等を図るなど、良質な医療の提供と経営健全化に努めます。

上下水道局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンスを徹底しました。各課とも、職場内での課題となるテーマを、課内講師により研修し、職場内の意識統一や現場での事例を共有するなど、リスクの軽減に努めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	「上下水道局職員人材育成計画」では、組織において、職位ごとに求められる役割・能力を示した上で、それぞれの職位ごとに応じた研修メニューを実施しました。独自の職位別研修として、主任職員を対象とした、「次世代リーダーセミナー」を、外部講師を招いて実施しました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	上下水道事業運営に必要な専門的知識・技能の習得を図るため、専門実務研修として、特定のテーマ（「水道管路設計施工」や「下水道事業計画」など）を取り上げて、計4回の研修を実施しました。また、技術系の所属では、課内業務について、独自に、課内研修を実施したり、民間の講習会に参加しました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	川添浄水場内に研修センターを設け、豊富な知識と経験を有する退職者を配置しています。研修センターでは、退職者（再雇用職員）が、研修を企画し、講師を務めるなど、現職の職員への技術継承を主眼とした研修を行い、技術や技能の向上を図りました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	管理職においては、公平かつ公正な評価のみならず、人事評価制度を活用し、人材の育成に活用することで、職員の意識改革と能力開発を効果的に推進し、多様なお客さまニーズに対応できる職員の育成を図りました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	職員が主体的に学ぶことができる研修体系の整備として、「上下水道局職員人材育成計画」を毎年策定し、年間を通じた研修計画や自主研修のメニューを提示することにより、職員各人が計画的に研修に参加することができるようにしています。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	職員の業務に対する理解の推進を図り、業務上の執行誤りを防ぐため、年度末には、新年度に備え、担当者による業務マニュアルの内容の確認・修正を行い、職場研修などでのマニュアルの内容の確認及び共有化を図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

上下水道局

▶ 平成28~29年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	9 件	効果額		取組項目数	
【取組状況】		目標効果額	31,457 千円	※達成	4 件
実施済	6 件	実績効果額	93,953	※おおむね達成	4 件
着手済	3 件	歳入	21,027 千円	ある程度達成	1 件
未着手		歳出	72,926 千円	やや下回っている	
中止		計	93,953 千円	かなり下回っている	
未到来				全くできなかった	
【実施・着手率】	100% %	【達成率】	298.7% %	【達成率】※の割合	88.9% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
3 - (3) 県水依存率の低減	県営水道の依存率を低減させ、渇水のリスクを低下させるため、県水受水量を削減するよう、大幅に予算額を削減し、実際に受水量、決算額が削減できました。	35,849千円

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ●平成27年度に鉛製給水管引換工事助成制度の運用範囲を拡充し、助成制度の利用促進を図るとともに、広報紙やホームページ等のほか、鉛管使用者への戸別通知を順次実施するなど、制度等の周知に努めたため、助成制度の利用件数が、28年度の1,083件から1,300件に増加しました。 ●職員の能力・技術力の向上は、平成29年度に日本水道協会主催の全国会議を高松市において開催しました際に、同会議の研究発表会において、10題の発表を行いました。研究発表は発表者だけではなく、周囲の職員の協力が不可欠であり、資料の作成や情報の収集等に多くの職員が携わり、知識が職員に蓄積されました。
課題	<p>水道事業の広域化に伴い、水道事業においては、構成団体間で異なっている制度やお客さまサービスの統一が急務です。</p> <p>また、下水道事業においては、水道事業の広域化に伴う、上下水道組織の分離後も、引き続き、上下水道組織統合の効果を維持しながら、市民目線に立った効率的かつ健全な経営の継続に努める必要があります。</p>
今後の取組	<p>水道事業の広域化に伴い、上下水道事業は分離しますが、下水道事業は地方公営企業法の財務規定を適用します。今後も、上下水道事業基本計画に基づき、将来にわたり健全で持続可能な企業経営を目指して、下水道未接続世帯の解消や県水依存率の低減などにより、効率的で健全な事業運営を目指します。</p>

教育局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課とも、朝礼時やリスクマネジメント会議を通じて、「新コンプライアンス推進施策」に従い情報の共有や法令等の遵守に努め、コンプライアンスの徹底を図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課とも、年度当初に年間業務スケジュールを作成し、管理職を含め各担当者の役割確認に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	学校教育課、保健体育課など、指導主事の配置がある所属において、専門性の伴う各種研修会や会議等に参加し、国や県の最新情報を得る中で専門性の維持、向上に努めました。 中央図書館では、香川県図書館協会が実施している研修（利用者対応、図書館資料の収集・選定、著作権、読み聞かせ等）に積極的に参加し、専門的知識を習得することで、図書館サービスの向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	保健体育課において、朝礼等で別の担当者にも事業進行状況を報告し、共有することで協力体制を構築するとともに、常日頃から係長を中心に、事業を進行しながらOJTを実施しています。 生涯学習課において、事務分掌で主担当者・副担当者を定め、日頃から副担当者と情報を共有し、事業実施について協力できる体制をとり、事業実施のノウハウを継承できるよう努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度における能力評価及び業績評価の面談を通じ、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	管理職を中心に積極的に課員とコミュニケーションを図り、局内や課内の課題共有や情報提供を行うことで風通しの良い職場環境の向上に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各課において、業務ごとのマニュアルを作成し、随時更新を行いながら、日常の業務遂行や引継時などに活用しました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

教育局

▶ 平成28~29年度の取組実績評価（局評価）

達成度		
取組項目数	6 件	効果額
【取組状況】		目標効果額
実施済	1 件	実績効果額
着手済	5 件	歳入
未着手	件	歳出
中止	件	計
未到来	件	千円
【実施・着手率】	100% %	【達成率】
		— %
		【達成率】※の割合
		50.0% %

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
3-1 教育資金支援事業	平成28年度高松市外部評価対象事業となり、奨学金制度については成績要件の見直しが必要との意見を受け、平成29年度奨学生から成績要件の引上げ（平均3.1以上→3.5以上）を行いました。	

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
3-3 コミュニティセンター等講座事業の見直し	「まなびの場づくり」事業について、地域からの意見も踏まえ、史跡探訪や自然観察など、各地域の実情に合わせた講座を柔軟に実施できるよう、事業の見直しを行いました。周知が遅くなるなど準備が遅れたことにより、目標値を下回りました。

実績概要

成果	●教育資金支援事業：平成28年度高松市外部評価対象事業となり、奨学金制度については成績要件の見直しが必要との意見を受け、平成29年度奨学生から成績要件の引上げ（平均3.1以上→3.5以上）を行いました。
課題	●コミュニティセンター等講座事業の見直し：「まなびの場づくり」事業について、地域からの意見も踏まえ、史跡探訪や自然観察など、各地域の実情に合わせた講座を柔軟に実施できるよう、事業の見直しを行ったことにより、実施個所が前年度からは大幅に増加しましたが、目標値を下回りました。
今後の取組	●学校給食調理場の整備及び運営方法の検討：学校給食調理場の整備については、造成工事、建設工事等に着手し、高松市新設第二学校給食センター（仮称）の完成に努めるとともに、運営方法を決定します。 ●コミュニティセンター等講座事業の見直し：「まなびの場づくり」事業について、コミュニティセンターに講座の趣旨である高松の次世代を担う子どもたちの学ぶ意欲を高めることで、「生きる力」の育成に取り組むことの重要性について周知し、講座実施個所の増加を目指します。

監査委員事務局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	毎週月曜日の朝礼において、職員の当番制によるコンプライアンス関連の講和や、「Takamatsu CS Credo」や地方自治法の唱和を実施しました。また、月に2回、リスクマネジメント会議を開催し、職員のコンプライアンスの意識の向上に努めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	局の職場目標（管理職の人事評価の業績目標）を開示し、組織目標の共有・浸透を図るとともに、管理職を含めた局内の打ち合わせを定期的に行い、職位ごとに求められる責任、役割の認識を深め、職場一丸となって職務を遂行しました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	市町村アカデミーや国際文化研修などの人事課主催の研修に参加したほか、その研修参加者が講師となって職場内研修を実施し、職員間で専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	毎年事務分掌を見直し、担当業務について、前任者が課内に在籍し、サポートできる状態でスムーズな事務引継、技術継承が出来るよう体制を構築しています。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価・行政評価における十分な面談や、希望者への評価結果の開示などを通じて、適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	子育てや介護等を担う職員も多く、職員一人一人がワーク・ライフ・バランスをうまく保ちながら、安心して自らの職責を果たせるよう、日頃から職場内のコミュニケーションを深めたり、業務分担内容に配慮するなど、休暇等が取得しやすい職場風土づくりに努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	法制度の改正等、必要に応じて随時、業務マニュアルの内容更新等を行っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

選挙管理委員会事務局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	リスクマネジメント会議では、リスクに繋がりそうな事例を早い段階で情報共有し、その原因を追究し、全員で対応することができました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	月2回係長会議を開催し、課内の懸案事項の協議を行い、その都度、事業の方向性や担当者等を決定しました。また、選挙課内で共通の認識が持てるよう事業の進捗状況の確認や情報の共有を図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	選挙課内職員全員で、選挙検定を行い、公職選挙法及び事例の研究等の専門的知識の向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	選挙時の併任職員について、担当業務ごとに経験と知識を有する併任職員を配置し、未経験の併任職員への技術継承に取り組みました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、選挙課内で、十分な面談を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	職場目標として、選挙課のビジョンとミッションを設定し、課内全員で話し合いを行いました。さらに壁に掲示し意識づけを行いました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	各担当ごとに作成している選挙業務マニュアル及び、全体の主要事務日程表を各種選挙に応じて見直し、事務の漏れが無いよう管理執行を行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

農業委員会事務局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	毎週月曜日の朝礼で「Takamatsu CS Credo」を唱和し、定期的にリスクマネジメント会議を開催するなど「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンス推進を徹底しました。 特に、職場の使命（ミッション）である優良農地の確保と担い手への農地集積・集約化の施策に重点を置き、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	業務上の懸案事項について管理職を含め相談する体制をとるなど、職位ごとに求められる責任、役割を認識しながら問題の解決に努めました。 また、各係ごとに、I L U Oチャートを作成し、その評価による担当者の成長度合いの見える化、モチベーションのアップを図りました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	日常的に職員間で業務についての相談を行うほか、四半期ごとに、講師（事務担当者）の持ち回りによるO J T（農地関係法令研修）を実施し、職場全体の専門性の維持、向上に努めました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	ベテラン職員の人事異動に対応するため、各係員全員が全ての業務に係る専門的な知識を取得できるよう、原則2年間ごとのジョブローテーションを実施し、前任者が課内に在籍しているうちに引継ぎを行えるようにしました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、十分な面談や希望者への評価結果の開示などを通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	「農政全般にわたる専門的な知識を有するプロフェッショナル集団を育てる組織への改革」という職場目標を設定し、目標達成に向けて毎月最低1回の係内ミーティングを実施しました。 また、日々のコミュニケーションを積極的に行い、風通しの良い職場環境の整備に努めました。
「人材育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	農地法関係の申請及び利用集積計画に係る審査業務の運用を見直し、1件あたりにかかる時間を削減するなど事務の効率化を図りました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

市議会事務局

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	各課ともに「新コンプライアンス推進施策」に記載している各施策を実践し、コンプライアンスを徹底しました。特に、「毎週金曜日をコンプライアンス推進日に設定」の施策に重点を置き、職員への意識付けを図りました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課において、年間スケジュールを作成し、局内係長会で情報共有するとともに、担当の役割を明確にするため係内打合せを行いました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	人事課等が実施する研修のほか、香川県市議会議長会、四国市議会議長会が実施する事務局職員研修会に所属職員を積極的に参加させました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各課の事務分掌において、在課年数の長い職員と短い職員を組み合わせ、技術継承に努めました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価の能力評価及び業績評価において、各課ともに十分な面談を通して適正な評価の実現に努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	各課において、「風通しの良い職場の実現」という職場目標を設定し、係長会議後に係内ミーティングを実施しました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	係単位で作成している業務マニュアルについて、適宜見直しを図っています。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

出納室

平成29年度全局共通取組項目の取組実績

重点取組

信頼される職員の育成と質の高い行政サービスの提供

分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(1)	朝礼において、毎週水曜日は不祥事撲滅推進プログラムを、金曜日は「高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例」第3条及び第4条を読み上げることで、室内全職員でコンプライアンス意識を高めました。
「コンプライアンス推進施策」の実施		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	各係において担当ごとの進捗状況を把握し、適切に指示をしました。 また、業務上の懸案事項等について、管理職を含め相談する体制を作っており、その中で職位ごとの責任や役割を認識しながら問題の解決に努めました。
職位ごとに求められる責任、役割の認識		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	普段から職員間で業務についての相談を活発に行っているほか、レアケースについての情報共有を図ることで、専門性の維持、向上を図りました。
専門性の維持、向上		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(2)	1年ないし、2年ごとに担当業務や担当する課を入れ替え、前任者が課内に在籍しているうちに引き継ぎを行えるよう努めることで、技術継承の推進を図りました。
技術継承の推進		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	人事評価制度に基づき、評価者による面談を漏れなく実施するとともに、管理職等上位の者が設定した目標を部下と情報共有するなど、室内での意思疎通を図るなかで、各人が目標を持って業務に携われるよう努めました。
人事評価制度の適正な運用		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(3)	室の懸案事項について室内で情報共有を図るとともに、相談しやすい、風通しの良い職場の実現に努めました。
「人財育成ビジョン」に基づく職場環境の整備		
分類番号・実施項目名		実施内容（概要）
1	(4)	業務ごとに担当者が見直しを行いました。
各課における「業務マニュアル」の見直し		

3 プロジェクト進行管理制

項番	1	分類番号	1 - (1) (コンプライアンスの徹底)	リーダー	総務局 コンプライアンス推進課
主な関係課	全課				
実施項目	コンプライアンスの徹底				

1. 実施内容(計画策定時)

「新コンプライアンス推進施策」に基づき、推進チームとして引き続き、個々の職員のコンプライアンス意識の向上を図るとともに、不祥事が発生しない職場環境づくりを推進するなど、事務局（コンプライアンス推進課）と連携し、コンプライアンスの徹底に取り組みます。

2. 取組実績

【成果】	<p>毎年実施している「コンプライアンスアンケート」について、職員の意識変化をより効果的に検証できるよう、対象者及び設問内容の見直しを行いました。</p> <p>また、昨年度に引き続き、「さわやかサービス推進チーム」と連携し、新規採用職員に対して、電話・窓口対応研修を実施しました。</p>
【課題】	<p>職員のコンプライアンス意識については、平成26年度のコンプライアンスアンケート開始以降、着実に向上してきているものの、昨年度においては、回答率及び職員のコンプライアンス理解度は、いずれも前年度を下回っていることから、コンプライアンス意識が職員全体に完全には浸透しているとは言えません。</p>
【今後の取組】	<p>コンプライアンスアンケートの結果等も踏まえ、「新コンプライアンス推進施策」に基づく各種の取組について、より効果的な実施方法等を検討し、実施することにより、職員一人一人の意識向上を図る必要があります。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	3 (ある程度達成)

項番	2	分類番号	2 - (1) (自主財源の確保)	リーダー	財政局 税務部 納税課 (債権回収室)
主な関係課	国保・高齢者医療課、介護保険課、こども園運営課、こども家庭課、市民病院事務局医事課、住宅課、出納室、お客さまセンター				
実施項目	債権管理の適正化				

1. 実施内容(計画策定時)

<p>市民の貴重な財産である債権の管理に万全を期すため、計画的で適正な債権管理の取組を進めます。</p> <p><主な検討・実施内容></p> <p>①債権管理・回収マニュアル等の改定</p> <p>②電話催告や臨戸訪問等の取扱い</p> <p>③納付環境の整備</p> <p>④債権回収ノウハウの共有</p>

2. 取組実績

【成果】	<p>平成29年度の債権管理の適正化プロジェクトチーム会議において電話催告や訪問催告の取扱い等について協議し、本市の全庁的な統一マニュアルとして、「電話催告・訪問催告マニュアル」を策定しました。</p> <p>また、各課の取組状況や課題等についての意見交換を行い、債権管理・回収に関する情報共有を図ることができました。</p>
【課題】	<p>債権管理・回収に関するノウハウの伝達や債権所管課間での情報共有に努めていますが、他業務との兼ね合いや過去に実績が少ないことから強制処分の実績が上がっていない債権があります。</p>
【今後の取組】	<p>債権所管課が強制処分等の実績を上げられるよう、債権回収室が中心となり、助言や支援を行うことで、本市全体の債権管理の適正化を強化します。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	5 (達成)

項番	3	分類番号	2 - (2) (ファシリティマネジメントの 推進)	リーダー	財政局 財産経営課 (ファシリティマネジメン ト推進室)
主な関係課	公共・公用施設等の建築物を保有・維持管理している全課 (ただし、国の指針に基づき進められている土木・インフラ系施設部門等は除く)、政策課、財政課、建築課				
実施項目	ファシリティマネジメントの推進				

1. 実施内容(計画策定時)

本市の今後の財政状況から、現在ある全ての公共施設を維持することはできないため、思い切った削減が必要となっています。平成27年度に策定した「高松市公共施設有効活用・再配置等方針」に基づき、公共施設の複合化や統廃合、規模の見直し等を行うとともに、老朽化した施設は廃止、民間の運営が適当な施設は売却するなど、公共施設の総量削減や配置の見直しを進めます。そのための、個別施設の方向性を定める、「公共施設再編整備計画」の策定に取り組みます。

【取組推進に当たっての留意事項】

- 施設利用者や地域住民への十分な説明
- 多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画などの関連計画との整合
- 施設ごとの中長期保全計画に基づく、LCCの効率化
- 継続使用する施設のうち、必要な施設は長寿命化対策（予防的な保全など）を実施

2. 取組実績

【成果】	28年度に引き続き、「高松市公共施設再編整備計画（案）3次」（対象170施設）分について、庁内検討により取りまとめました。
【課題】	「高松市公共施設再編整備計画（案）3次」（対象170施設）分について、年度内に庁内のとりまとめを完了しました。今後、30年度に議会等関係機関への説明を経て、パブリックコメント等を実施した後に、1次・2次分と合わせて、具現化できるものから再編整備実施計画を策定し、ファシリティマネジメントの取組効果の早期発現を目指す必要があります。
【今後の取組】	高松市公共施設再編整備計画（案）に定めた各施設の方向性（総合評価結果）のうち、「廃止」や「用途変更」など「継続」以外の方向性を定めた施設について、具現化できる施設から「高松市公共施設再編整備実施計画」を策定し、総量の適正化に努めます。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

項番	4	分類番号	2 - (4) (社会保障費の抑制)	リーダー	健康福祉局 国保・高齢者医療課
主な関係課	長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、保健センター、政策課、コミュニティ推進課、産業振興課				
実施項目	保険給付費適正化				

1. 実施内容〔計画策定時〕

<p>増大する国民健康保険、介護保険の保険給付費の適正化について、関係課が連携を強化し、効率的・効果的に取り組むため、引き続きプロジェクトチームを設置し、次の事務・事業を行います。</p> <p>①保険給付費の実態に関する分析 ②保険給付費の適正化に関する計画の見直し及び検証 ③保険給付費の適正化に関する周知啓発等</p>
--

2. 取組実績

【成果】	<ul style="list-style-type: none"> ●第2期高松市国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画で中心的に取り組んだ、糖尿病予防や介護予防、慢性腎臓病（CKD）予防対策等の成果に基づき、取組をさらに推進していくため、平成30年度～35年度までの6年間を計画期間とする、高松市第2期データヘルス計画（第3期国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画）を策定しました。 ●計画では、各課よりデータを集約・分析・検証し、新たに13の目標と22の関連事業を設定しました。 ●特定健診受診率については、今年度、新たに特定健康診査対象者にインセンティブを付与し、受診の動機とするための懸賞ポイント事業を実施しました。また、未受診者受診勧奨事業の実施により受診率が向上しました。 ●介護予防、健康づくりについては、各種介護予防教室や新規の運動教室を実施し、参加者数を伸ばしています。
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病の早期発見、早期治療のため特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施率をさらに高め、必要があるのに医療機関を受診していない人を医療につなげる必要があります。 ●高額レセプト発生疾患である腎不全の予防対策（糖尿病重症化予防、CKD重症化予防等）をさらに強化する必要があります。 ●医療費適正化の周知啓発のため、重複・頻回受診者対策やジェネリック医薬品の使用促進事業、介護保険給付費周知を行ったり、レセプト点検やケアプランの点検を適正に実施する必要があります。 ●データヘルス計画を適正に評価していくために、各年度ごとのデータの集約や分析ができる体制をとり、中間評価を確実に実施することが重要です。
【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●今回策定した計画の目標達成のため、PDCAサイクルを意識した実施・評価を行います。 ●各課と連携を取り、共通目標の達成状況などを共有し、各事業に還元していきます。 ●保険給付費の適正化状況を国保・高齢者医療課が集約し、各課の次年度以降の事業を検討する材料とします。 ●引き続き、各種団体に周知啓発活動を積極的に行います。
【目標達成度】 (6段階評価)	4（おおむね達成）

項番	5	分類番号	3 - (3) (最適な行政サービスの提供)	リーダー	総務局 人事課 (行政改革推進室)
主な関係課	情報政策課、コンプライアンス推進課、市民課、人事課、危機管理課、納税課、市民税課、資産税課、健康福祉総務課、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、生活福祉課、長寿福祉課、介護保険課、子育て支援課、こども家庭課、こども園運営課、保健対策課、保健センター、住宅課、消防局総務課、学校教育課、保健体育課				
実施項目	社会保障・税番号制度の推進				

1. 実施内容〔計画策定時〕

<p>社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進するために、次に掲げる事項について検討します。</p> <p>①番号制度に関連するシステム改修に関すること。 ②個人番号の独自利用に関すること。 ③個人番号通知カード及び個人番号カードの交付に関すること。 ④特定個人情報保護評価に関すること。 ⑤例規の整備に関すること。 ⑥情報セキュリティ対策に関すること。 ⑦その他、番号制度に関すること。</p>

2. 取組実績

【成果】	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクトチーム会議を3回開催しました。 ●税務署と連携した申告会場でのカード取得キャンペーン等、普及促進キャンペーンを実施しました。 ●情報提供ネットワークシステムの本格運用開始に合わせ、総合センター・支所・出張所職員を対象に説明会を実施しました。 ●専従の人員の配置により、マイナンバーカードの円滑な交付を継続しました。 ●タブレット端末を使用し、写真撮影及びインターネット申請を行うサービスを開始しました。 ●コンビニでの証明書交付において、戸籍の証明書、マイナンバー入りの住民票等の交付を開始しました。
【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ●マイナンバーカードの普及促進。 ●30年7月のデータ標準レイアウト改版に係る試行運用、本格運用への対応。 ●地域経済応援ポイント実証事業の実施。
【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ●マイナンバーカードの普及を図るため、利便性のPR等効果的な広報を行います。 ●マイナンバーカード取得キャンペーンを実施します。 ●国の動向を注視し、マイナンバー制度を更に効果的に推進するため、市民の利便性向上に向けた独自利用事務の検討等を行います。 ●地域経済応援ポイント実証事業の効果を検証します。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

【平成28年度追加項目】

項番	6	分類番号	4 - (3) (市政の見える化)	リーダー	環境局 環境総務課
主な関係課	環境総務課、情報政策課、政策課、納税課、保健センター、産業振興課、都市計画課、生涯学習課、市民病院事務局総務課、企業総務課				
実施項目	本市公式ホームページの再構築に向けた基本的事項の検討				

1. 実施内容

高松市公式ホームページを再構築し、利用者にとって、より分かりやすく、親しみやすいものとするための基本的事項を検討します。

2. 取組実績

【成果】	<ul style="list-style-type: none"> ●総合トップページにより、「くらし、観光、事業者向け」へと入り口を分けることで、利用者が求める情報まで辿り着きやすくなりました。 ●「くらしの情報」では、5種類のグローバルナビ、8種類の便利ナビで情報を分けることで、見たい情報を検索しやすくなりました。 ●各インデックスページの情報表示の方法に、開閉方式やプルダウン方式を採用することにより、ページのデザインを崩すことなく、一つのページで多くの情報を表示できるようになりました。
【課題】	各ページの階層を5階層以内にまとめるということを当初は目的としていましたが、移行期間の中で、全ての階層を確認することが困難であったため、運用開始後も階層整理を実施する必要があります。
【今後の取組】	今後の運用の中で、階層の校正が煩雑化しているところは、随時、改善を行っていきます。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

【平成29年度追加項目】

項番	7	分類番号	4 - (1) (市民の市政参画意識の醸成と協働の取組)	リーダー	市民政策局 政策課
主な関係課	コミュニティ推進課、まちづくり企画課、障がい福祉課、長寿福祉課、長寿福祉課地域包括ケア推進室、子育て支援課、保健センター、産業振興課、住宅課、生涯学習課				
実施項目	高松版生涯活躍のまち構想検討				

1. 実施内容(計画策定時)

移住者を含めた地域住民が、多世代と交流し、健康で活動的な生活を送れる地域づくりを進めるとともに、雇用創出や人口減少の抑制を目指し、「高松版生涯活躍のまち構想（仮称）」の策定について検討・協議します。

2. 取組実績

【成果】	<p>庁内プロジェクトチームを3回開催し、「生涯活躍のまち」を目指す背景と意義を整理するとともに、構想の基本的な考え方や骨子案の検討を行いました。</p> <p>特に構想検討の中で、地域コミュニティと密接に関わる重要性が指摘され、地域における「人材確保」や「人材育成」に取り組むことが高松独自の取組として求められることが示されました。</p>
【課題】	<p>地域包括ケアシステムや地域共生社会など、当該構想と各課が所管する施策・事業との関連性を整理・共通理解することに時間を要しています。そのため、骨子案の策定まで至らず、最終的な構想策定までには至っていません。</p>
【今後の取組】	<p>平成30年度の早い段階で骨子案を取りまとめた上で、構想の策定に取り組めます。</p>
【目標達成度】 (6段階評価)	3 (ある程度達成)

【平成29年度追加項目】

項番	8	分類番号	4 - (1) (市民の市政参画の醸成 と協働の取組)	リーダー	健康福祉局 健康福祉総務課
主な関係課	コミュニティ推進課、危機管理課、障がい福祉課、長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、保健センター、消防局予防課、消防防災課				
実施項目	「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」改訂				

1. 実施内容〔計画策定時〕

大規模災害での教訓及び課題や、内閣府作成の「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」を踏まえ、「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」を改訂するとともに、その内容を具体化した要領、マニュアル等を作成します。

2. 取組実績

【成果】	2008年10月に策定以降、見直されていなかった「高松市災害時要援護者支援に関する手引書」を改訂するため、29年度中に計5回の会議を重ね、より現状に合った地域の支援体制の充実を図るための手引書に改訂しました。
【課題】	手引書の内容を具体化した要領、マニュアル等を策定する必要があり、29年度中に検討を行ったが、一部調整を要する事項があり、完成できていません。
【今後の取組】	プロジェクトチームでさらに検討を重ね、要領、マニュアル等の作成に取り組みます。
【目標達成度】 (6段階評価)	4 (おおむね達成)

4 【参考】平成28年度外部評価による事業の見直し状況

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H29年度 当初予算	H30年度 当初予算
1	公衆便所管理等事業	環境局 環境施設対策課	改善	改善	14,688	14,599 (▲89)
2	コミュニティセンター 講座等事業	教育局 生涯学習課生涯 学習センター	改善	改善	21,767	19,324 (▲2,443)
3	歴史資料館管理運営事業 (ほか関連4事業)	創造都市推進局 文化財課	改善	改善	71,607	69,492 (▲2,115)
4	図書館運営事業 (ほか関連1事業)	教育局 中央図書館	改善	改善	384,100	371,889 (▲12,211)
5	教育資金支援事業	教育局 学校教育課	改善	改善	30,407	27,059 (▲3,348)

【参考】平成29年度外部評価による事業の見直し状況

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H29年度予算 (H30.3.31時点)	H30年度 当初予算
1	男女共同参画社会推進事 業	市民政策局 男女共同参画・協 働推進課	改善	改善	1,167	1,208 (41)
2	交通事故相談事業	市民政策局 くらし安全安心課	改善	改善	409	403 (▲6)
3	高齢者福祉通信機器貸与 等事業	健康福祉局 長寿福祉課	縮小	縮小	2,765	2,276 (▲489)
4	高齢者住宅改造助成事業	健康福祉局 長寿福祉課	改善	改善	9,410	5,280 (▲4,130)
5	市民農園整備事業	教育局 学校教育課	改善	改善	1,600	1,686 (86)
6	観光ボランティアガイド 育成事業	創造都市推進局 観光交流課	改善	改善	542,000	505,000 (▲37,000)
7	観光団体育成事業	創造都市推進局 観光交流課	改善	改善	2,372	2,211 (▲161)

